

第4学年「国語」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

成果 ○ 文章を読むことが好きで、学習に意欲的な児童が多い

課題 ▼ 自分の考えを言葉や文章で表現できないことがある。

▼ ローマ字の書きが定着していない。

指導の重点（身に付けさせたい力）

◇ 語彙を増やす。

◇ 自分の考えを、適切な言葉と文章で表現する力。

具体的な改善策

○ 知らない言葉を辞書で調べる活動を多く取り入れ、語彙を増やす。

○ 教科書の気持ちや様子を表す表現をもとに、自分の伝えたいことに該当する言葉を探して表現する機会を増やす。

達成目標

□ 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。

□ 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。

□ 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。